

2019年度

決算報告書

自 2019年4月 1日
至 2020年3月31日

2020年6月

一般社団法人日本教育情報化振興会

貸借対照表

2020年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現 金	432,222	229,282	202,940
預 金	39,468,712	38,449,873	1,018,839
未 収 金	19,213,202	24,070,823	△4,857,621
未 収 消 費 税	0	178,900	△178,900
流動資産合計	59,114,136	62,928,878	△3,814,742
2. 固定資産			
(1)特定資産			
退職給付引当資産	3,540,000	3,358,000	182,000
運営強化基金	910,926,090	940,199,720	△29,273,630
宮 島 基 金	13,409,705	13,458,985	△49,280
特定資産合計	927,875,795	957,016,705	△29,140,910
(2)その他固定資産			
建物付属設備	0	0	0
什 器 備 品	0	0	0
事務所保証金	11,229,140	11,229,140	0
その他固定資産合計	11,229,140	11,229,140	0
固定資産合計	939,104,935	968,245,845	△29,140,910
資 産 合 計	998,219,071	1,031,174,723	△32,955,652
II 負債の部			
1. 流動負債			
預 り 金	292,921	485,439	△192,518
未 払 金	18,063,787	13,187,447	4,876,340
未 払 消 費 税	66,000	0	66,000
賞 与 引 当 金	255,020	219,000	36,020
流動負債合計	18,677,728	13,891,886	4,785,842
2. 固定負債			
退職給付引当金	3,540,000	3,358,000	182,000
固定負債合計	3,540,000	3,358,000	182,000
負 債 合 計	22,217,728	17,249,886	4,967,842
III 正味財産の部			
一般正味財産	976,001,343	1,013,924,837	△37,923,494
(うち、特定資産への充当額)	(924,335,795)	(953,658,705)	(△29,322,910)
負債及び正味財産合計	998,219,071	1,031,174,723	△32,955,652

貸借対照表内訳表

2020年3月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的 支出計画 実施事業会計	一般事業会計	法人会計	合 計
I 資産の部				
1. 流動資産				
現 金	0	0	432,222	432,222
預 金	0	0	39,468,712	39,468,712
未 収 金	18,113,202	1,100,000	0	19,213,202
内 部 振 替 勘 定	△84,164,002	△30,353,394	114,517,396	0
流動資産合計	△66,050,800	△29,253,394	154,418,330	59,114,136
2. 固定資産				
(1) 特定資産				
退職給付引当資産	0	0	3,540,000	3,540,000
運営強化基金	0	0	910,926,090	910,926,090
宮 島 基 金	0	0	13,409,705	13,409,705
特定資産合計	0	0	927,875,795	927,875,795
(2) その他固定資産				
建物付属設備	0	0		0
什 器 備 品	0	0		0
事務所保証金	0	0	11,229,140	11,229,140
その他固定資産合計	0	0	11,229,140	11,229,140
固定資産合計	0	0	939,104,935	939,104,935
資 産 合 計	△66,050,800	△29,253,394	1,093,523,265	998,219,071
II 負債の部				
1. 流動負債				
預 り 金	0	0	292,921	292,921
未 払 金	0	0	18,063,787	18,063,787
未 払 消 費 税	0	0	66,000	66,000
賞 与 引 当 金	0	0	255,020	255,020
流動負債合計	0	0	18,677,728	18,677,728
2. 固定負債				
退職給付引当金	0	0	3,540,000	3,540,000
固定負債合計	0	0	3,540,000	3,540,000
負 債 合 計	0	0	22,217,728	22,217,728
III 正味財産の部				
一般正味財産	△66,050,800	△29,253,394	1,071,305,537	976,001,343
負債及び正味財産合計	△66,050,800	△29,253,394	1,093,523,265	998,219,071

正味財産増減計算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
① 特定資産受取利息	8,826,026	8,388,841	437,185
受取入会金			
① 受取入会金	1,000,000	250,000	750,000
受取会費			
① 受取会費	57,370,000	58,450,000	△1,080,000
事業収益			
① 受取参加料	8,328,000	6,839,000	1,489,000
② 受取広告料	1,476,100	2,193,400	△717,300
③ 受取出展料	0	6,170,000	△6,170,000
④ 受取委託料	9,020,000	19,648,000	△10,628,000
⑤ 販売収益	384,338	681,814	△297,476
⑥ 受取協賛金	15,335,947	13,693,558	1,642,389
受取補助金等			
① 受取民間補助金	18,113,202	13,591,023	4,522,179
雑収益			
① 雑収益	248,361	378,705	△130,344
経常収益計	120,101,974	130,284,341	△10,182,367

科 目	当年度	前年度	増 減
(2) 経常費用			
事業費			
① 印刷製本費	7,159,584	9,399,335	△2,239,751
② 賃借料	27,330,328	27,608,168	△277,840
③ 広告宣伝費	0	0	0
④ 諸謝金	5,821,606	6,543,662	△722,056
⑤ 委託費	58,327,873	52,381,674	5,946,199
⑥ 支払負担金	356,400	324,000	32,400
⑦ 支払手数料	623,203	675,681	△52,478
⑧ 租税公課	1,378,513	1,323,759	54,754
⑨ 新聞図書費	206,110	105,827	100,283
⑩ 役員報酬	12,735,000	16,005,000	△3,270,000
⑪ 給料手当	6,274,519	9,984,055	△3,709,536
⑫ 福利厚生費	2,656,275	3,735,246	△1,078,971
⑬ 会議費	1,229,286	1,545,504	△316,218
⑭ 旅費交通費	13,779,965	19,020,200	△5,240,235
⑮ 通信運搬費	6,866,511	6,051,073	815,438
⑯ 消耗品費	2,662,605	1,358,029	1,304,576
事業費計	147,407,778	156,061,213	△8,653,435

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費			
① 印刷製本費	466,388	923,705	△457,317
② 賃借料	1,732,648	1,711,921	20,727
③ 諸謝金	33,411	0	33,411
④ 委託費	1,607,017	1,351,985	255,032
⑤ 支払負担金	4,752,717	4,438,380	314,337
⑥ 支払手数料	52,707	51,879	828
⑦ 租税公課	139,673	414,999	△275,326
⑧ 役員報酬	465,000	495,000	△30,000
⑨ 給料手当	242,198	269,967	△27,769
⑩ 退職給付費用	182,000	179,000	3,000
⑪ 福利厚生費	139,809	196,595	△56,786
⑫ 会議費	1,089,614	1,108,204	△18,590
⑬ 旅費交通費	128,170	139,925	△11,755
⑭ 通信運搬費	205,148	205,002	146
⑮ 消耗品費	107,560	66,057	41,503
⑯ 減価償却費	0	195,000	△195,000
管 理 費 計	11,344,060	11,747,619	△403,559
経 常 費 用 計	158,751,838	167,808,832	△9,056,994
評価損益等調整前当期経常増減額	△38,649,864	△37,524,491	△1,125,373
特定資産評価損益等	726,370	27,801,890	△27,075,520
当 期 経 常 増 減 額	△37,923,494	△9,722,601	△28,200,893

科 目	当年度	前年度	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△37,923,494	△9,722,601	△28,200,893
一般正味財産期首残高	1,013,924,837	1,023,647,438	△9,722,601
一般正味財産期末残高	976,001,343	1,013,924,837	△37,923,494

正味財産増減計算書内訳表

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的支出計画実施事業会計				一 般 事 業						合 計
	継続1 教育におけるICT 利用促進のための 調査研究事業	継続2 教育の情報化 普及促進事業	継続3 教育現場の ICT安全安心 対策事業	小 計	一般1 教育の情報化に ついての調査・ 研究開発事業	一般2 教育の情報化の 普及・推進事業	一般3 教育工学団体 協働事業	一般4 会員情報交流 事業	小 計	法人	
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
特定資産運用益											
① 特定資産受取利息										8,826,026	8,826,026
受取入会金											
① 受取入会金										1,000,000	1,000,000
受取会費											
① 受取会費										57,370,000	57,370,000
事業収益											
① 受取参加料				0	7,422,000	54,000		62,000	7,538,000	790,000	8,328,000
② 受取広告料				0		1,476,100			1,476,100		1,476,100
③ 受取出展料				0					0		0
④ 受取委託料				0	1,100,000		7,920,000		9,020,000		9,020,000
⑤ 販売収益		57,460		57,460	15,400	311,478			326,878		384,338
⑥ 受取協賛金	1,000,000			1,000,000		14,335,947			14,335,947		15,335,947
受取補助金等											
① 受取民間補助金			18,113,202	18,113,202							18,113,202
雑収益											
① 雑収益				0		235,997			235,997	12,364	248,361
経常収益計	1,000,000	57,460	18,113,202	19,170,662	8,537,400	16,413,522	7,920,000	62,000	32,932,922	67,998,390	120,101,974
(2) 経常費用											
事業費											
① 印刷製本費	1,389,043	2,560,983	893,435	4,843,461	275,927	1,837,133	195,775	7,288	2,316,123		7,159,584
② 賃借料	2,470,478	5,837,473	5,589,973	13,897,924	3,068,582	4,435,180	5,583,459	345,183	13,432,404		27,330,328
③ 広告宣伝費				0					0		0
④ 諸謝金		162,000	1,553,600	1,715,600	50,112	4,055,894			4,106,006		5,821,606
⑤ 委託費	8,061,436	12,468,386	20,127,843	40,657,665	7,652,096	5,025,519	4,636,776	355,817	17,670,208		58,327,873
⑥ 支払負担金				0			356,400		356,400		356,400
⑦ 支払手数料	58,461	136,356	129,470	324,287	65,235	97,738	129,470	6,473	298,916		623,203
⑧ 租税公課	151,741	285,203	285,203	722,147	143,001	213,902	285,203	14,260	656,366		1,378,513
⑨ 新聞図書費				0	206,110				206,110		206,110
⑩ 役員報酬	1,587,000	2,610,000	3,060,000	7,257,000	1,395,000	3,060,000	930,000	93,000	5,478,000		12,735,000
⑪ 給料手当	435,953	968,785	968,785	2,373,523	726,588	968,785	2,157,184	48,439	3,900,996		6,274,519
⑫ 福利厚生費	251,647	559,216	559,216	1,370,079	279,608	419,412	559,216	27,960	1,286,196		2,656,275
⑬ 会議費	137,901	730,634	4,320	872,855	222,281	58,783	19,320	56,047	356,431		1,229,286
⑭ 旅費交通費	355,022	780,365	4,193,572	5,328,959	791,917	6,596,003	1,023,980	39,106	8,451,006		13,779,965
⑮ 通信運搬費	1,067,900	3,270,774	268,463	4,607,137	752,292	1,292,888	206,006	8,188	2,259,374		6,866,511
⑯ 消耗品費	336,162	484,435	430,228	1,250,825	333,806	626,235	430,228	21,511	1,411,780		2,662,605
事業費計	16,302,744	30,854,610	38,064,108	85,221,462	15,962,555	28,687,472	16,513,017	1,023,272	62,186,316	0	147,407,778
管理費											
① 印刷製本費				0					0	466,388	466,388
② 賃借料				0					0	1,732,648	1,732,648
③ 諸謝金				0					0	33,411	33,411
④ 委託費				0					0	1,607,017	1,607,017
⑤ 支払負担金				0					0	4,752,717	4,752,717
⑥ 支払手数料				0					0	52,707	52,707
⑦ 租税公課				0					0	139,673	139,673
⑧ 役員報酬				0					0	465,000	465,000
⑨ 給料手当				0					0	242,198	242,198
⑩ 退職給付費用				0					0	182,000	182,000
⑪ 福利厚生費				0					0	139,809	139,809
⑫ 会議費				0					0	1,089,614	1,089,614
⑬ 旅費交通費				0					0	128,170	128,170
⑭ 通信運搬費				0					0	205,148	205,148
⑮ 消耗品費				0					0	107,560	107,560
⑯ 減価償却費				0					0		0
管理費計				0					0	11,344,060	11,344,060
経常費用計	16,302,744	30,854,610	38,064,108	85,221,462	15,962,555	28,687,472	16,513,017	1,023,272	62,186,316	11,344,060	158,751,838
評価損益等調整前当期経常増減額	△15,302,744	△30,797,150	△19,950,906	△66,050,800	△7,425,155	△12,273,950	△8,593,017	△961,272	△29,253,394	56,654,330	△38,649,864
特定資産評価損益等										726,370	726,370
当期経常増減額										57,380,700	△37,923,494
2. 経常外増減の部											
(1) 経常外収益											
経常外収益計											0
(2) 経常外費用											
経常外費用計											0
当期経常外増減額											0
当期一般正味財産増減額											△37,923,494
一般正味財産期首残高											1,013,924,837
一般正味財産期末残高											976,001,343

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(2) 有価証券の評価基準及び評価法

有価証券については個別法の時価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却

① 有形固定資産(リース資産を除く)

建物付属設備、什器備品 定額法によっている。

② リース資産

リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用している。

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金は、役職員に対する退職金の期末要支給額を計上している。

賞与引当金は、支給対象期間が当期に属する支給見込額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	3,358,000	182,000	0	3,540,000
運営強化基金	940,199,720	0	29,273,630	910,926,090
宮島基金	13,458,985	0	49,280	13,409,705
合 計	957,016,705	182,000	29,322,910	927,875,795

4. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	3,540,000			(3,540,000)
運営強化基金	910,926,090		(910,926,090)	
宮島基金	13,409,705		(13,409,705)	
合 計	927,875,795		(924,335,795)	(3,540,000)

5. 担保に供している資産

該当なし

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当なし

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当なし

8. 保証債務等の偶発債務

該当なし

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

該当なし

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金の名称	交付者	前期末 残 高	当 期 増加額	当 期 減少額	当期末 残 高	貸借対照 表上の 記載区分
補助金 I C T 社会に おける安全・安 心確保に関する補助事業	公益財団 法人 J K A	0	18,113,202	18,113,202	0	—
合 計		0	18,113,202	18,113,202	0	

補助事業の収支計算は次のとおりである。

2019年度 I C T 社会における安心安全確保に関する補助事業

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差異
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
補助事業収入			
(1)公益財団法人 J K A 補助金収入	22,006,000	18,113,202	3,892,798
(2)一般会計繰入金収入	5,504,000	5,837,342	△333,342
事業活動収入計	27,510,000	23,950,544	3,559,456
2 事業活動支出			
補助事業支出			
(1)公益財団法人 J K A 補助金補助事業費 I C T 社会における安心安全確保に 関する補助事業	27,510,000	23,950,544	3,559,456
事業活動支出計	27,510,000	23,950,544	3,559,456
事業活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	0	0	0
前期繰越収支差額	0	0	0
次期繰越収支差額	0	0	0

- 1 1. 基金及び代替基金の増減額及びその残高
該当なし
- 1 2. 指定正味財産から一般正味財産への振替額
該当なし
- 1 3. 関連当事者との取引
該当なし
- 1 4. 重要な後発事象
該当なし

附属明細書

1. 特定資産の明細

特定資産については、財務諸表の注記3. 特定資産の増減額及びその残高に記載しているため記載を省略します。

2. 引当金の明細

科 目	前期末残高	当期増減額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	3,358,000	182,000	0	0	3,540,000
賞与引当金	219,000	255,020	219,000	0	255,020

2020年5月13日

一般社団法人日本教育情報化振興会
会長 赤堀 侃司 様

監事 大島 国昌



監事 山岸 勇一郎



監 査 報 告 書

私たち監事は、一般社団法人日本教育情報化振興会の2019年4月1日から2020年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果についてつぎのとおり報告いたします。

記

1. 監査方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告書及びその附属明細書について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

2. 監 査 意 見

(1) 事業報告等の監査結果

- ①事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

(3) 公益目的支出計画実施報告書の監査結果

公益目的支出計画実施報告書は法令又は定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

独立監査人の監査報告書

2020年5月11日

一般社団法人日本教育情報化振興会

会長 赤堀 侃 殿

公認会計士甲良好事務所

東京都港区

公認会計士

甲 良 好



監査意見

私は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第124条第2項第1号の規定に基づく監査に準じて、一般社団法人日本教育情報化振興会の2019年4月1日から2020年3月31日までの2019年度の貸借対照表及び損益計算書（公益認定等ガイドラインII-4の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）並びに附属明細書並びに財務諸表に対する注記について監査し、あわせて、貸借対照表内訳表及び正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産及び損益（正味財産増減）の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私の責任は、「財務諸表等の監査における監査人責任」に記載されている。私は我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私は、意見表明のための基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正または誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続事業の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続事業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基

礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。

・財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。

・理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。

・理事者が継続事業を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続事業として存続できなくなる可能性がある。

・財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適切に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

法人と私の間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上